

第36回串間市農業委員会総会

日 時 平成29年5月31日 開始15:00 終了15:54

会 場 串間市役所3階大会議室

出席委員 18名

2番(会長代理)	井手 重則	10番	瀬治山満弘	17番	金川 勇次
3番	安田 敬司	11番	鈴木 信	18番	福田 孝義
5番	内田 政秀	12番	渡邊 豊雄	19番	野邊 秀男
6番	欠 員	13番	谷口 利則	20番	山下 貴義
7番	欠 員	14番	野邊 俊博	21番	鳴海 正文
8番	瀬治山秋美	15番	吉田 友子	22番	岩下 哲見
9番	日高 善次	16番	島田 俊満		

欠席委員 1名 1番(会長) 川崎 善昭

議事録署名委員 12番 渡邊 豊雄 17番 金川 勇次

議事日程

第1	報告(合意解約)	農地法第18条第6項の規定による届出について
第2	議案第231号	農地法第3条の規定による許可申請について
第3	議案第232号	農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
第4	議案第233号	非農地証明願について
第5	議案第234号	農用地利用集積計画の承認について(所有権移転)
第6	議案第235号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定・認定農業者)
第7	議案第236号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定・一般農業者)

出席事務局	5名	事務局長 吉国 保信	次長 河野 あずさ
		調整係長 酒井 尋	主任技師 古屋 雅史
			主事 川畑 裕

会長代理 ただいまから、第36回農業委員会総会を開催いたします。本日は、会長より欠席届が提出されていますので、出席委員は18名であります。

議事録署名委員の指名

会長代理 本総会での議事録署名委員の指名をいたします。
議事録署名委員は、12番 渡邊豊雄 委員、17番 金川勇次 委員にお願いします。

会長代理 審議に入ります前に、送付議案書の訂正がございますので、事務局の説明を求めます。

事務局 議案書の訂正をお願いします。7ページをお開きください。
議案第232号農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号7番でござい
ますが、申請された10筆のうち1筆の農振区分が「農用内」と記載していますが、正しくは「農用外」にな
りますので、訂正をお願いします。
つづきまして、12ページをお開き下さい。議案第236号農業経営基盤強化促進法に基づく農地利用集積
計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、受付番号3番の受人の住所が間違っていました。正しくは
受付番号4番の受人の住所と同じでありますので、訂正をお願いします。

会長代理 説明は聞きのとおりであります。ただちに議案審議に入ります。

報告：農地法第18条第6項の規定による届出について

会長代理 まず報告、農地法第18条第6項の規定による届出について、事務局より報告させます。

事務局 農地法第18条第6項の規定による合意解約について、報告いたします。
今回の合意解約は4件でございます。内容といたしましては、貸人及び借人の申し出によるもの等が解約の
理由となっております。

会長代理 報告はお聞きのとおりでございます。

議案第 2 3 1 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会長代理

次に議案 2 3 1 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請についてであります。

それでは議案 2 3 1 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 3 1 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番と 2 番、4 番と 5 番の所有権移転に関する 4 件と、受付番号 3 番の持分移転に関する 1 件の合計 5 件であります。受付番号 3 番につきましては、5 0 名の共有地であります、譲渡人の持分 6 3 分の 1 を移転するものであります。許可要件につきましては、通常の農地法第 3 条の規定と相違ないことを申し添えます。

事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が 5 0 アールに達しない場合

「第 6 号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合

「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、であります。

今回の許可申請、受付番号 1 番から 5 番の 5 件については、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号 1 番から 3 番の 3 件の説明をお願いします。

5 番

議案第 2 3 1 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番から 3 番までの 3 件であります。

受付番号 1 番につきましては、渡人が親戚である受人へ贈与するものであります。受人は 3 0 年前から申請地に水稻を作付けしており、現在の経営は水稻 6 0 アール、樹園地で早生ミカンを栽培されています。受人世帯の農業従事状況については、本人が 3 0 0 日、母が 1 0 0 日であり、繁忙期には臨時雇用を行うため、労働力不足による支障等はありません。また、水稻については、稲刈りは地元農業者へ作業受託を行いますが、それ以外の作業は、保有農機具で対応しており、技術面についても農業歴 1 9 年であるため問題ありません。申請地周辺は水稻の作付地帯でありますので、農薬等の使用についても地域の防除基準に従うとのことであり、何も問題ありません。

次に受付番号 2 番について、渡人が遠方で管理ができないため、受人へ無償移転するものであります。受人は和牛生産農家で経営規模拡大のため、申請地に飼料を作付けするものです。受人世帯は、機械保有状況・労働力・技術面においても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。農業従事状況については、受人は会社員ですが 1 5 0 日、母が 2 0 0 日以上あるため問題ないと考えます。申請地周辺も同じ飼料が作付けされており、農薬は使用しないため影響はありません。

次に、受付番号 3 番につきましては、受人は持分移転後、申請地に飼料稲を作付けするとのことであります。受人世帯においては、水田と畑を合わせて 3. 4 ヘクタール作付けし、生産牛 3 0 頭を飼養しています。農業従事状況につきましては、本人が 3 0 0 日・妻が 2 0 0 日の従事があるため問題ありません。周辺地域は水田地帯であり、水利調整への参加にも協力していくとのことであり、機械保有・労働力・技術面についても何も問題ありません。

以上、福島地区委員会において、慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番から 3 番の 3 件のすべてにおいて、農地法第 3 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議よろしく申し上げます。

会長代理

次に、大東地区委員会より受付番号 4 番の 1 件の説明をお願いします。

1 5 番

議案第 2 3 1 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 4 番の所有権移転に関する 1 件であります。

受付番号 4 番につきましては、登記名義回復のため無償移転を行う申請であり、受人はこれまでどおり、食用甘藷を作付けしていくことです。受人世帯は、機械保有・労働力・技術面から見ても問題なく、効率的

15番

な農業経営を行っていいと考えます。また、農業従事状況については、受人が300日、夫が100日以上
の従事があり問題ないと考えます。申請地周辺に農地がありますが、同じく食用甘藷が作付けされているため、
農薬散布等の問題はありません。

以上、大東地区委員会において、受付番号4番の1件について慎重に審議してまいりましたが、農地法第3
条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議よろしくをお願いします。

会長代理

次に市木地区委員会より、受付番号5番の1件の説明をお願いします。

21番

議案第231号、農地法第3条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号5番の所有権移転に関
する1件でございます。

受付番号5番について、渡人である母から受人である息子へ贈与を行うものであります。受人は建設業を経
営されており兼業農家であります。申請地には水稻が作付けされており、トラクター・コンバイン等の農業機
械の保有があり、労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っています。農業従事状況につ
いても、本人が200日以上、妻が150日以上に従事日数があり問題ないと考えます。周辺地域は水稻の作
付けが行われており、農薬散布や水利調整へ参加されるため問題ないと考えます。

以上、市木地区において、受付番号5番の所有権移転に関する1件について、担当委員より報告を受け、慎
重に審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方
よろしくをお願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第231号、受付番号1番から5番の5件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会長代理

ないようですので、議案第231号、受付番号1番から5番の5件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長代理

異議なしということでありますので、議案第231号、受付番号1番から5番の5件は、許可することに決定します。

議案第232号：農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について

会長代理

次に議案第232号は、農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見についてであります。それでは議案第232号、受付番号1番から7番の7件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第232号、農地法第5条の規定による許可申請は、受付番号1番から7番の所有権移転に関する7件であります。

農地法第5条第2項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番の農地区分は、農用地区域内にある農地ではありませんが、農地法第5条第2項1号ロにあります、集団的に存在する農地、その他良好な営農条件を備える「第一種農地」であることから不許可の事由に該当することになります。しかし、今回の申請は、農地法施行令第4条第1項第2号イ及び農地法施行規則第33条第1項第4号にあります「住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において、居住する者の日常生活上または業務上必要な施設で集落に接続して設置されるもの」に当たることから、申請地は「第一種農地」であります但不許可の例外に該当しています。

次に、受付番号2番から7番の6件の農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該

事務局

当しておりません。

したがしまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から7番の7件につきましては、許可要件をすべて満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号1番から3番の3件の説明をお願いします。

5番

議案第232号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番から3番の所有権移転に関する3件であります。

まず、受付番号1番につきましては、受人は家族5人で借家に居住しているが、子供の成長とともに手狭になったため、申請地に個人住宅を建設するものであります。また、今後の両親の介護等を考慮し近隣に居住したいことや、受人は運送会社に勤務しているため、トレーラー用の駐車場を確保するため、ある程度面積が必要であります。土地取得になると費用も掛かることから、渡人である父が所有する申請地を選定し、個人住宅建築として申請されています。申請地周囲には農地があるため、境界周囲にブロックを設けることで、土砂流失防止に努め、家庭排水は合併浄化槽を経由し道路側溝へ排出させ、雨水についても道路側溝へ排出するため影響はありません。また、今回の申請地に接続する市道は、中学校への通学路となっておりますが、受人はフルトレーラーを使用していますので、中学生の通学時間を避け、十分安全に配慮するとのことであり、問題ないと考えます。

次に受付番号2番につきましては、叔母である渡人が市外在住で管理できないことから、甥である受入へ贈与するものであります。申請地は周囲が原野化及び山林化したことにより、日照不足等のため耕作できないことから植林しており、今後も受入が山林として管理していくとのことです。申請地周囲は山林でありますので、影響を及ぼすような恐れもありません。

次に受付番号3番につきましては、受入は近隣で建設業を営んでおり、社用車及び来客用駐車場が不足しているため、申請地を駐車場として利用する計画です。周囲は公衆用道路と宅地であるため農地はなく、駐車場と使用することで影響を与えることはないと考えます。また、申請地を駐車場にするに当たり、公衆用道路に土砂などが流失しないよう、西側・東側・南側にブロックを設置し、雨水は自然浸透で対応しますが、余剰分は東側の道路側溝に排出されるようにするため、転用による影響はありません。

以上、福島地区委員会において、受付番号1番から3番の3件について慎重審議してきましたが、すべてが農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会長代理

次に、大東地区委員会より受付番号4番から7番の4件の説明をお願いします。

1 5 番

議案第 2 3 2 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 4 番から 7 番の 4 件でございます。

まず、受付番号 4 番と 5 番の 2 件は、申請目的と受人が同一ですので併せて説明します。申請地は周囲が山林化し、日照問題等で耕作不便となったことから、昭和 5 3 年から昭和 5 4 年にかけて、渡人の家族が植林を行ったものであります。また、譲受会社は林業・製材会社であり、製材工場に近く製材用及びバイオマス発電用の丸太等を増産するため、今後も山林として管理していく申請であります。申請地周辺には農地がないことから、営農条件への支障を及ぼすようなことはなく、雨水については自然浸透で問題ありません。

次に、受付番号 6 番について、申請地は広域農道の新設に伴い、畑を分断されたあと、形状が三角形で崖に面していることから、安全面からも耕作不便となったことから、渡人が経営する受入会社の造園工事に用いる庭石及び庭木の展示販売を兼ねた置き場として利用していたため、今回申請されました。申請地の西側は宅地、北側と東側には公衆用道路であります。土砂流失の恐れもなく、雨水は自然排水で対応可能であるため、問題ありません。

次に受付番号 7 番につきましては、譲受会社が農業用水利施設である水路を利用し、小水力発電事業を行うため、発電及び蓄電施設を設置するものであります。申請地を選定した理由については、西側にある既存のヘッドタンク（調圧水槽）と水圧管を改修すれば活用できるため経費節減にもつながること、発電所までの道路新設を行う上でも、渡人が所有する山林及び私道があったことから、工事着工もスムーズに行えると判断し決定されたとのことです。工事は本年 7 月から平成 3 0 年 4 月までに行い、平成 3 0 年 5 月から発電を開始するとのことであります。申請地の周囲に農地はありませんが、申請地は河川堤防より低いことから大雨時には浸水する恐れがあるため、河川堤防より高くなるよう盛土し、併せて排水管を埋設し河川へ排出させる対策を講じるとのことです。また、盛土を行ったことによる法面部分には、張芝を行うことで河川への土砂流失防止に努め、危険防止対策としてフェンスを設置するため問題ありません。また、発電後の水は水路を経由して河川へ放流されることから、河川の流量等について串間土木事務所と協議済みであり、問題ないとのことでありますので、転用による土砂流失及びその他の災害を発生させる恐れはないと考えます。

以上、大東地区委員会において、受付番号 4 番から 7 番の 4 件を慎重審議してきましたが、4 件すべてが農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第 2 3 2 号、受付番号 1 番から 7 番の 7 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会長代理

ないようでございますので、議案第 2 3 2 号、受付番号 1 番から 7 番の 7 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長代理

異議なしということですので、議案第 2 3 2 号、受付番号 1 番から 7 番の 7 件は許可相当とし、受付番号 6 番と 7 番の 2 件は、宮崎県常設審議委員会へ意見聴取を求め、受付番号 1 番から 5 番の 5 件は、意見を付して県へ進達いたします。

非農地証明願について

会長代理

次に、議案第 2 3 3 号は非農地証明願についてであります。

それでは、議案第 2 3 3 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 3 3 号 非農地証明願については、受付番号 1 番の 1 件であります。

非農地証明願につきましては、登記簿上の地目が農地である土地について、農地法第 2 条第 1 項にあります、「耕作の目的に供される農地の定義に該当しない」ため、農地以外の地目に変更するための証明願となります。

受付番号 1 番につきましては、これまで学校用地として利用されており、昭和 5 1 年 7 月 5 日施行『宮崎県証明書交付手続要領』にあります、非農地認定基準の「農地法施行（昭和 2 7 年 1 0 月 2 1 日）以前から農地以外の土地」に該当する申請であるため、申請書類上におきまして問題ないと思われます。皆様のご審議をお願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、大東地区委員会より受付番号 1 番の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

15番

議案第233号、非農地証明願いについて、大東地区は受付番号1番の1件であります。

受付番号1番につきましては、申請地は旧串間市立大東中学校の学校敷地内にありますが、一部地目が農地として残っていたことから非農地証明願いを出されたものであります。今回の申請地は、中学校校舎・プール・グラウンドの一部にかかっており、昭和22年開校から中学校敷地として利用されているため、農地法施行以前から学校敷地であったと認められますので問題ありません。

以上、大東地区委員会において、受付番号1番の1件を慎重審議してきましたが、農地法施行前から農地以外の土地であり、非農地証明の発行は妥当であると判断します。本会議でのご審議よろしく申し上げます。

会長代理

説明はお聞きのとおりでございます。

これより議案第233号、受付番号1番の1件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会長代理

ないようでございますので、議案第233号、受付番号1番の1件を承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長代理

異議なしということですので、議案第233号、受付番号1番の1件を承認し、非農地証明を発行することに決定いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会長代理

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてであります。審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成29年5月分につきましては、串間市長より平成29年5月23日付、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。

内容につきましては、議案第234号・所有権移転が2件・面積が11,226㎡、議案第235号・受入が認定農業者である利用権設定が1件・面積が6,116㎡、議案第236号・受入が一般農業者である利用権設定が4件・面積が6,096㎡でございます。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。
それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。

議案第 2 3 4 号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会長代理

議案第 2 3 4 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認、所有権移転分についてあります。

審議に入ります前に、当該議案に 1 0 番委員に関係する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第 3 1 条「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了までの退席をお願いします。また、関係議案の終了後に入室・着席をお願いします。

暫時休憩いたします。

(1 0 番委員 退室)

会長代理

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、議案第 2 3 4 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件であります。先に受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 3 4 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。先に受付番号 1 番の 1 件を説明いたします。

「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項、

第 1 号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること

第 2 号イ) 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること

第 2 号ロ) 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件は、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われま。皆様のご審議をお願いいたします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、福島地区委員会より受付番号１番の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

５番

議案第２３４号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号１番の１件を説明します。

受付番号１番の１件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番の１件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。これより議案第２３４号、受付番号１番の１件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

（ なしの声 ）

会長代理

ないようですので、議案第２３４号、受付番号１番の１件を承認してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会長代理

異議なしということですので、議案第２３４号、受付番号１番の１件を承認して市へ通知します。暫時休憩します。

（ １０番委員 入室・着席 ）

会長代理

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、議案第２３４号、先に審議しました受付番号１番の１件を除く、受付番号２番の１件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第２３４号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分の受付番号２番の１件を説明します。

事務局によります申請書類の審査において、受付番号２番の１件につきましては、先ほど議案第２３４号受付番号１番で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いいたします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、福島地区委員会より受付番号２番の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

５番

議案第２３４号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号２番の１件を説明します。

受付番号２番の１件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号２番の１件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第２３４号、受付番号２番の１件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

（ なしの声 ）

会長代理

ないようですので、議案第２３４号、受付番号２番の１件を承認してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会長代理

異議なしということですので、議案第２３４号、受付番号２番の１件を承認して市へ通知します。

議案第 2 3 5 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

会長代理

次に議案第 2 3 5 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分についてであります。

それでは議案第 2 3 5 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 3 5 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分は受付番号 1 番の 1 件であります。

事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件につきましては、先ほど議案第 2 3 4 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いいたします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、福島地区委員会より受付番号 1 番の 1 件の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

5 番

議案第 2 3 5 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、福島地区は受付番号 1 番の 1 件であります。

受付番号 1 番の 1 件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまから議案第 2 3 5 号、受付番号 1 番の件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会長代理

ないようでございますので、議案第 2 3 5 号、受付番号 1 番の 1 件について承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長代理

異議なしということですので、議案第 2 3 5 号、受付番号 1 番の 1 件を承認して市へ通知します。

議案第 2 3 6 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

会長代理

次に議案第 2 3 6 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分についてであります。

それでは、議案第 2 3 6 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 3 6 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分は受付番号 1 番から 4 番の 4 件であります。

事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番から 4 番の 4 件は、先ほど議案第 2 3 4 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われま。

また、受付番号 2 番と 4 番の 2 件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項第 4 号の規定により、相続権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。ただし、契約期間が 5 年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られていれば足りることとなっております。

受付番号 2 番につきましては、契約期間が 5 年を超えておらず、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。

受付番号 4 番につきましては、所有権を有する者全員の同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より、受付番号 1 番から 2 番の 2 件の説明をお願いします。

5 番

議案第 2 3 6 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、福島地区は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。

5 番

受付番号 1 番と 2 番の 2 件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会長代理

次に、都井地区委員会より受付番号 3 番から 4 番の 2 件の説明をお願いします。

20 番

議案第 236 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、都井地区は受付番号 3 番と 4 番の 2 件でございます。

受付番号 3 番と 4 番の 2 件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 3 番と 4 番の 2 件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会長代理

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまから、議案第 236 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

(なしの声)

会長代理

ないようですので、議案第 236 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長代理

異議なしということでありますので、議案第 236 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を承認し市へ通知します。

会長代理

以上で議案審議は全部終了しました。慎重・審議、誠にありがとうございました。

